

商店街、アプリで道案内

テクサー（京都市下京区、朱強社長、075・754・7337）は、米アップルの近距離無線通信技術「iBeacon（アイビーコン）」を活用して道案内するスマートフォン向けアプリケーション（応用ソフト）を開発した。高精度な位置推定機能や多言語翻訳

テクサー、スマホ向け

機能などを生かし、商店街を中心に訪日外国人旅行者の需要を取り込む。開発したのは「iLoca（イロカ）」と呼ばれるアプリ。地球測位システム（GPS）や無線LANのWiFi（ワイファイ）を使うよりも、利用者の位置を高精度に推定する。アイビ

アップルのアイビーコン活用

ーコンを活用し、近づいてくる顧客に店舗の最新情報などを配信する。このほか日本語、英語、中国語の3カ国語の同時翻訳機能や電子決済機能も備え、買い物のやりとりも支援する。今後は省電力の広域無線技術「LPWA」なども組み合わせ、2021年に全体の売上高を数十億円に高める考え。株式市場も検討するという。（京都）